

金銀山世界遺産へ県・佐渡市

提案書 きょう再提出

県と佐渡市は十九日、「再提出する。先行して本
佐渡金銀山の世界遺産登録された石見銀山(島
録に向けた国内候補暫定 登録された石見銀山(島
リストへの追加登録を 根県)との差別化に重点
求める提案書を文化庁に 東アジア鉱山史に与えた
ね、提案書を青木保長官

影響などを説明する内
容。
泉田裕彦知事と高野宏
一郎市長が文化庁を訪
ね、提案書を青木保長官
に渡す。
新しい提案書は「金と
銀の島、佐渡―鉱山とそ
の文化」という題で、能
なりの文化を「金銀山に
よってもたらされた富
によって発達した」と関
連付けて説明し、佐渡の
独自性を強調。世界へ
の影響については「佐渡

で生まれた技術が、近隣
国の鉱山にも伝わった
可能性があり、研究を進
めている」と紹介してい
る。
世界遺産登録を決める
国連教育科学文化機関
(ユネスコ)は、同種の
遺産は一国一カ所を原則
としている。県教育委員
会は「周辺に与えた影響
の大きさなどの観点で、
佐渡金銀山は独自性が高
い。石見とは性質が違っ
た。佐渡は石見と比べて
遺産と理解してもらいた
い」(文化行政課)とし
ている。
県と同市は二〇〇六年
十一月に提案書を提出し
たが、今年一月の暫定リ
スト追加登録の対象には
選ばれず、継続審査とな
った。
文化庁から「石見との
比較―佐渡が世界に与
えた影響―などを明らか
にするよう課題を提示さ
れ、提案書を年内に再提
出するよう求められてい
た。